

教科	国語	学年	第2学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
見えないだけ	2	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。	【知・技】語句について理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ)		【態】進んで語感を磨き、今までの学習を生かして朗読しようとしている。
アイスプラネット	5	文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えることができる。	【知・技】情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ)	【思・判・表】「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えている。(C(1)ア)	【態】登場人物の設定のしかたなどを積極的に捉え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。
単語をどう分ける？	2	単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解することができる。	【知・技】単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解している。(1)オ)		【態】学習課題に沿って、積極的に自立語について理解を深めようとしている。
魅力的な提案をしよう	5	自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫することができる。(	【知・技】言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づいている。(1)ア)	【思・判・表】話すこと・聞くことにおいて、資料や機器を用いるなどして、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。	【態】自分の考えがわかりやすく伝わるように粘り強く表現を工夫し、学習の見通しをもってプレゼンテーションをしようとしている。
枕草子	3	現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知ることができる。	【知・技】作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。(3)ア)	【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ)	【態】文章を読んで理解したことや考えたことを進んで知識や経験と結び付け、学習課題に沿って自分ならではの季節感を表す文章を書こうとしている。
クマゼミ増加の原因を探る	5	文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することができる。	【知・技】情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ)	【思・判・表】「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉えている。(C(1)ア)	【態】積極的に文章と図表などを結び付けて内容を解釈し、学習の見通しをもって考えたことを話し合おうとしている。
情報を整理して伝えよう	5	情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使うことができる。	【知・技】情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ)	【思・判・表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)	【態】多様な方法で集めた情報を粘り強く整理し、学習の見通しをもって職業ガイドを作ろうとしている。
漢字 1	1	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。	【知・技】第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)ウ)		【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
短歌に親しむ	5	短歌を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。	【知・技】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ)	【思・判・表】「読むこと」において、観点を明確にして短歌を比較するなどし、表現の効果について考えている。(C(1)エ)	【態】表現の効果について進んで考え、学習の見通しをもって短歌を創作しようとしている。
言葉の力	2	文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。	【知・技】本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。(3)エ)	【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ)	【態】文章を読んで理解したことや考えたことを進んで知識や経験と結び付け、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。
言葉 1	1	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。	【知・技】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ)		【態】今までの学習を生かして、積極的に類義語と対義語、多義的な語句、抽象的な概念を表す語句などについて理解しようとしている。

デジタル市民として生きる	3	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。	【知・技】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)	【思・判・表】「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈している。(C(1)イ)	【態】複数の情報を進んで整理しながら適切に読み取り、学習課題に沿って目的や状況に応じた情報収集のしかたについて考えをまとめようとしている。
翻訳作品を読み比べよう	3	観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考えることができる。	【知・技】本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。(3)エ)	【思・判・表】「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考えている。(C(1)エ)	【態】表現の効果について進んで考え、学習課題に沿って二つの翻訳を比べて感じたことを発表しようとしている。
ヒューマノイド	4	登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈することができる。	【知・技】話や文章の構成や展開について理解を深めている。(1)オ)	【思・判・表】「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。(C(1)イ)	【態】登場人物の言動の意味について粘り強く考え、今までの学習を生かして作品の印象を伝え合おうとしている。
字のない葉書	3	本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすことができる。	【知・技】本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。(3)エ)	【思・判・表】「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考えている。(C(1)エ)	【態】文章の構成や表現の効果について進んで考え、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。
表現を工夫して書こう	3	敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使うことができる。	【知・技】言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づいている。(1)ア)	【思・判・表】「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ)	【態】自分の考えが伝わる文章になるように積極的に工夫し、学習課題に沿って手紙や電子メールを書こうとしている。
表現の効果を考える	1	言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づくことができる。	【知・技】言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づいている。(1)ア)	【思・判・表】「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。(B(1)エ)	【態】進んで文章を整え、今までの学習を生かして手紙を推敲しようとしている。
言葉2	1	敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使うことができる。	【知・技】敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使っている。(1)カ)		【態】今までの学習を生かして、積極的に敬語の働きについて理解しようとしている。
聞き上手になろう	2	言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づくことができる。	【知・技】言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づいている。(1)ア)	【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。(A(1)エ)	【態】論理の展開などに注意して粘り強く聞き、今までの学習を生かして思いや考えを引き出すインタビューをしようとしている。
漢字2	1	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	【知・技】第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)ウ)		【態】積極的に同訓異字や同音異義語を理解し、学習課題に沿って漢字を読んだり書いたりしようとしている。
モアイは語る	5	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。	【知・技】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)	【思・判・表】「読むこと」において、文章の構成や論理の展開について考えている。(C(1)エ)	【態】論理の展開について粘り強く吟味し、学習の見通しをもって筆者の主張に対する自分の考えを文章にまとめようとしている。
適切な根拠を選んで書こう	5	伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫することができる。	【知・技】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)	【思・判・表】「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。(B(1)イ)	【態】粘り強く根拠の適切さを考え、学習の見通しをもって意見文を書こうとしている。
月夜の浜辺	1	抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。	【知・技】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ)		【態】進んで表現の効果について考え、今までの学習を生かして詩を味わおうとしている。
平家物語	1	現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知ることができる。	【知・技】作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。(3)ア)		【態】進んで古典に表れたものの見方や考え方を知り、今までの学習を生かして朗読しようとしている。
扇的	3	作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむことができる。(	【知・技】作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。(3)ア)	【思・判・表】「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。(C(1)イ)	【態】登場人物の言動の意味について進んで考え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。
仁和寺にある法師	4	文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。	【知・技】作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。(3)ア)	【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ)	【態】積極的に知識や経験と結び付けて考えを広げたり深めたりし、学習の見通しをもって登場人物について論じる文章を書こうとしている。
漢詩の風景	5	作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむことができる。	【知・技】作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。(3)ア)	【思・判・表】「読むこと」において、観点を明確にして漢詩を比較するなどし、漢詩の構成や表現の効果について考えている。(C(1)エ)	【態】進んで漢詩の構成や表現の効果を考え、今までの学習を生かして朗読しようとしている。
君は「最後の晚餐」を知っているか	3	情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使うことができる。	【知・技】情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ)	【思・判・表】「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。(C(1)エ)	【態】進んで観点を明確にして文章を比較し、学習の見通しをもって考えたことを文章にまとめようとしている。

立場を尊重して話し合おう	5	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。	【知・技】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)	【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。(A(1)オ)	【態】進んで互いの立場や考えを尊重し、学習の見通しをもって討論しようとしている。
走る。走らない。走ろうよ。	2	単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解することができる。	【知・技】単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解している。(1)オ)		【態】今までの学習を生かして、積極的に用言の活用について理解しようとしている。
「自分らしさ」を認め合う社会へ	2	本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすことができる。	【知・技】本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。(3)エ)	【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ)	【態】本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを進んで知り、今までの学習を生かして感想を伝え合おうとしている。
走れメロス	8	登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈することができる。	【知・技】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ)	【思・判・表】「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。(C(1)イ)	【態】登場人物の言動の意味などについて粘り強く考え、学習の見通しをもって作品の魅力や文章にまとめようとしている。
一字違いで大違い	1	単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解することができる。	【知・技】単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解する。(1)オ)		【態】今までの学習を生かして、積極的に助詞や助動詞の働きについて理解しようとしている。
描写を工夫して書こう	6	抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。	【知・技】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ)	【思・判・表】「書くこと」において、表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ)	【態】粘り強く描写を工夫し、学習の見通しをもって物語を創作しようとしている。
言葉3	1	話し言葉と書き言葉の特徴について理解することができる。	【知・技】話し言葉と書き言葉の特徴について理解している。(1)イ)		【態】今までの学習を生かして、積極的に話し言葉と書き言葉の特徴について理解しようとしている。
漢字3	1	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	【知・技】第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)ウ)		【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
国語の学びを振り返ろう	4	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。	【知・技】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)	【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。(A(1)オ)	【態】粘り強く国語を学ぶ意欲を考え、今までの学習を生かしてコビーにまとめてクラスで交流しようとしている。
鍵	3	詩を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。	【知・技】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ)	【思・判・表】「読むこと」において、詩を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ)	【態】詩を読んで理解したことや考えたことを進んで知識や経験と結び付け、学習課題に沿って作者のものの見方について話し合おうとしている。
国語の力試し	3	根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。	【知・技】類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解している。(1)エ)	【思・判・表】「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えている。(C(1)ア)	【態】今までの学習を生かして、それぞれの学習課題に粘り強く取り組もうとしている。